

校長室から応援メッセージ(8)

令和5年1月10日(火)

寒さの最も厳しい時期を迎えています。いよいよ今週末は大学入学共通テストの本番となります。山梨予備校で学ぶ皆さんは、ひとつの目標に向かってひたすら頑張る、そういう意識を持ち続けた一年だったと思います。

その意識も途切れがちだったかな、と思っても、それは現在の不安な気持ちがそう感じさせるだけで、悩み、苦しみ、その中で前へ進もうと懸命に生きるその姿は、まさに幸福を体現している姿なのではないかと私は思います。

幸福については様々に語られますが、私は幸福とは前を向いて生きていく、生きていけることだと思います。幸福という到達点があるのではなく、何があろうと前を向いて生きていく、その姿そのものでしかあり得ないと思います。

ピンと張り詰めた気持ちで今を生きる自分は幸福である。皆さん、そう信じてこれからの時期を乗り切ってください。大学入学試験においては何も恐れることはなく、これまでと同様、ひたすら頑張ろうとするだけでいいのです。

一回の試験で人生が決まる、という人もいますが、それは全く逆で、人生が一回の試験の意味を決める、というのが正しいと思います。人生の節目ごとの出来事の持つ奥深い意味は、その後の人生が決めていくことだからです。

皆さんが受験勉強に打ち込んだ日々は、人生を通じて振り返るたびに、そのときどきの皆さんに生きる勇気を与えてくれるはずです。そう私は信じています。私は、人生そのものを応援するつもりで、皆さんの受験を応援します。